

2014年 富士通アイソテック(株) 環境報告書

FUJITSU ISOTEC Sustainability Report 2014

当社は、「自然と共生するものづくり」を追求してきた富士通グループの一員として、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、FUJITSU Wayの企業指針「社会に貢献し地球環境を守ります」に基づき、環境経営に取り組んでいます。



1. ごあいさつ

2014年 環境報告書発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

富士通グループは本業を通じての環境活動を推進しており、事業活動を通じて地球環境をはじめとして広く社会課題の解決に貢献しております。「第7期富士通グループ環境行動計画」においても、ソリューションの提供と製品の環境負荷低減、社会との協働、生物多様性などの社会・環境課題の解決に取り組む活動に対する資金・技術・人材の支援及びステークホルダーや社会と協働した社員参加型の活動の支援も関連目標として掲げております。

当社は富士通グループの環境リファレンスモデル工場として、「サステナブル(持続可能)なものづくり」の為の重点テーマ「グリーン生産技術」「循環型プロセス」「地域社会貢献」の確立に向けて数々の手段を講じてこの活動に対応して参りました。環境対応のために特別な活動をAdditional(追加)に行うのではなく、事業活動そのものが環境に貢献する姿、これが狙う方向性です。工場・建屋単位での消費電力管理はもとより、生産ラインでの工程単位消費電力管理も行っており、これを生産における指針と捉え、今後の省エネ化、節電などにつなげて参ります。



環境管理担当
執行役員 遠藤賢次

2. 事業所の紹介

■ 設立: 1957年2月
■ 従業員数: 約800名
■ 総敷地面積: 80,000 m²
■ 事業内容

- ・デスクトップパソコン製造 ・PC (IA) サーバ製造
- ・プリンタ設計/製造/販売 ・精密加工事業 ・リサイクル事業
- ・システム構築事業 ・パソコン修理事業 ・パソコン教室

Made in Japan

ものづくりへのこだわり

Quality 品質 Cost コスト Delivery 納期 Green 環境

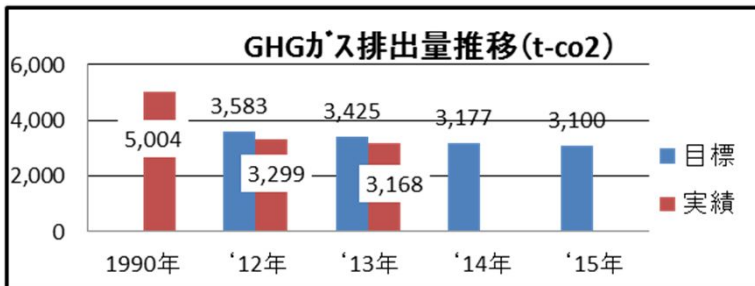
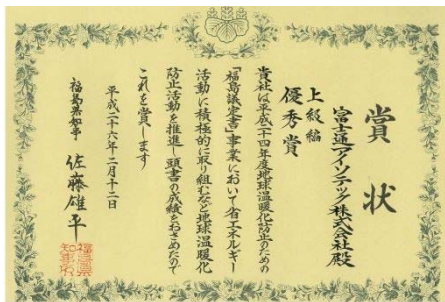


3. 環境活動

■エネルギー使用温室効果ガス(GHG)排出抑制

温室効果ガス(GHG)排出量を2015年度末までに3,100t-co2以下に抑制します。

- 2013年度は設備投資として、B3棟空調機及びE棟空調機2台のインバータ化を実施し、年間52t-co2の排出量削減に結び付きました。
- 2014年度は工場内照明のLED化や老朽化した設備の高効率設備への先取りした更新を実施し、更なる排出抑制を推進します。また、全社省エネルギー活動として、照明器具個別スイッチによる不要照明の消灯徹底や昼休みの消灯、個人使用パソコンの帰宅時電源遮断等を継続して実施します。
- 2014年2月、平成25年度福島議定書表彰式において、【平成24年度上級編 優秀賞】を受賞しました。福島県内の事業所が省エネルギー対策などに取り組み、二酸化炭素などの温室効果ガスの削減を図り、優秀な取り組みを県が表彰する事業で、一年間の取組み(上級編)内容と削減実績から受賞することが出来ました。

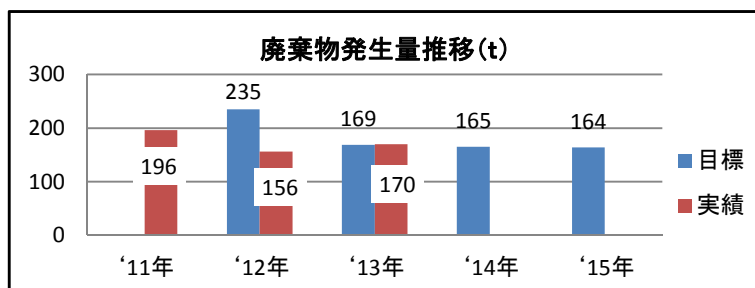


目標設定: 13年度1台当りの実績値を毎年度5%削減の上、計画台数をベースに算出

■廃棄物の発生量削減

廃棄物発生量を2015年度末までに164t以下に抑制します。

- 2013年度の実績としては、パソコンとサーバ製造ラインのワンフロア化レイアウト変更による廃プラスチックの増加やアマチュアASY増産による廃油類が増加した為、わずかですがクリアできませんでした。
- 2014年度は廃棄物集積所の建て替えに伴う収集方法の改善を図り更なる減量化を推進します。
- 主な活動として、廃棄物の分別徹底を行い、廃棄物から有価物への切換えを継続的に実施しています。

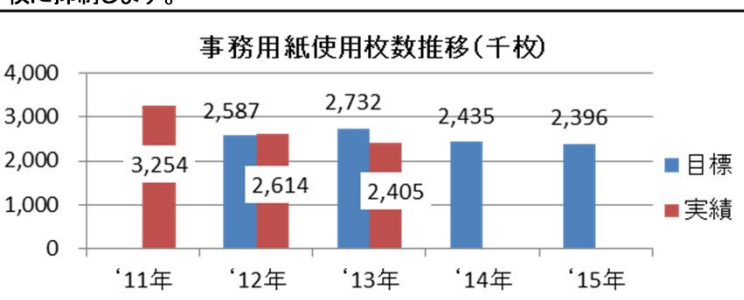


目標設定: 13年度1台当りの実績値を毎年度1%削減の上、計画台数をベースに算出

■事務用紙使用枚数削減

複写・印刷用の事務用紙使用量を2015年度末までに2,396千枚に抑制します。

- 2013年度は製造ラインで使用するチェックシートの用紙サイズ変更(A4⇒A5)やシステムデータの電子化等により大幅削減で目標を達成できました。
- 2014年度は複合機とドキュメント管理システムをフル活用した活動や、事務用紙を必要としない業務へのシステム化を推進し更なる削減を推進します。
- 個人別や用途別の使用枚数フィードバックやシステムの活用による削減枚数の「見える化」を図り、意識の向上に努めています。



目標設定: 13年度1台当りの実績値を毎年度2%削減の上、計画台数をベースに算出

■使用済製品のリサイクル推進

富士通東日本リサイクルセンターにおける使用済みICT製品の資源再利用率を2015年度末まで90.4%に向上します。

- 2013年度はプラスチック資源再利用率向上のための金属探知機を設置し、パソコンカバーなどから金属異物を確認して再生プラスチック材料を増やしました。また、有用金属の回収率をアップさせるために、複数の製錬業者や大学/研究所との連携により、プリント基板からの回収率向上やHDD溶解アルミスラグからの貴金属回収調査を実施しました。
- 2014年度は小型家電製品からの資源回収率アップのため、伊達市殿と連携し小型家電リサイクル実証事業を行い、資源回収率アップ技術調査を推進します。また、富士通研究所と連携してパソコンカバーからパソコンカバーへの水平リサイクルの取り組みを推進します。



金属探知機によるPCカバーの異物確認工程

4. 環境社会貢献活動

■工場周辺美化活動

■2013年度も4月と6月環境月間の2回の工場周辺美化活動を中心として、植栽用花の育苗と従業員への配布など、工場周辺及び関係者向けの活動を実施して来ましたが、2014年度は福島市の花見山でのボランティア活動や、伊達市の環境基本計画に基づく環境保全活動に積極的に参加する活動を推進します。



環境月間工場周辺美化活動参加者と植栽作業風景

植栽用花の育苗とアサガオ苗配布風景

■エコキャップ回収の支援活動

■社内で消費されるペットボトルのキャップを分別回収し、町内の小中学校に寄付し学校での活動を支援しており、2013年度は2校に合計133kgの支援を行いました。今年度も継続した活動を推進しています。

■緑の募金

■電車バスなどの公共交通機関や自転車、徒歩で通勤するエコ通勤者が臨時駐車場を使用した時の「緑の募金」と社内で育苗した花苗の配布者からの寄付金、約6万5千円を保原地区緑化推進委員会に寄付を行いました。



2013年6月 柱沢小学校へエコキャップ73.5kgを寄付

5. 環境教育・環境啓発活動

■富士通グループ全社共通「環境経営e-learning教育」の実施

■2013年度の環境一般教育は2015年度までの第7期環境行動計画スタートに伴い、富士通グループ全社共通「環境経営e-learning教育」を従業員（契約社員・派遣社員含む）全員が受講し環境に関する理解を深めました。

■2013年度緑のカーテンコンテスト実施結果

■2011年度からスタートし3回目の緑のカーテンコンテストに3件の応募が有り、厳選な審査により優秀賞と入選作品の表彰を行いました。植え付け前の土造りから、成長段階での枝分かれ促進先端芽切り、さらには水やりと手塩に掛けたことが結果に表れたものです。



緑のカーテン優秀賞

6. 生産エネルギーマネジメントへのICT活用

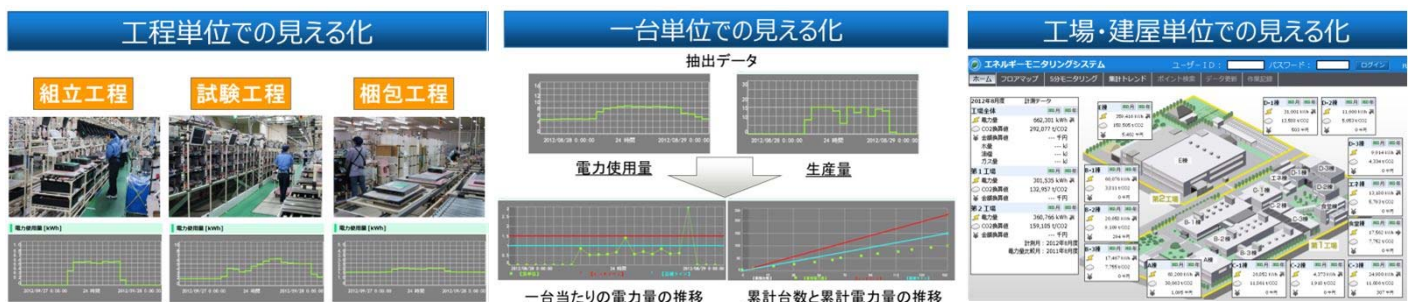
■生産エネルギー原単位システムの導入

■生産ラインの組立・試験・梱包の全3工程を工程単位で「見える化」することで、エネルギー消費の責任を明確化し、各工程ごとの分析を行うことで異常の早期発見や改善活動を推進しています。

■生産物一台単位の目標とする消費電力と使い過ぎ電力を「見える化」し、原単位の変化を監視することで、1台当たりの異常発見と原因分析に活用しています。

■エネルギーモニタリングシステムの導入

■工場全体、建屋、フロア・エリア単位に細分化し、リアルタイムの「見える化」をすることで、エネルギー消費に対する社員の意識向上を図り、月単位・年単位のトレンドを「見える化」することにより、省エネ法に準じたエネルギー消費傾向を把握しています。



7. 安心・安全な工場への取り組み

■地下水水質検査

環境管理活動を開始した1998年より、過去に使用履歴の残る化学物質を対象に工場敷地内に4本の監視井戸を設置し、地下水に有害物質が含まれていないか検査を行ってきました。さらに土壤汚染対策法の制定に伴い、2007年に工場敷地内の土壤汚染自主調査を実施し、以降、工場敷地境界に3本の監視井戸を追加し年4回の水質検査を行っております。

■2013年度水質検査結果(監視井戸別 年間最大検出値) 基準値のオーバーは有りません。

設置目的 調査地点	基準値	構内監視		地下タンク監視		境界監視		
		監視井戸 No.1	監視井戸 No.2	監視井戸 No.3	監視井戸 No.4	監視井戸 No.5	監視井戸 No.6	監視井戸 No.7
鉛(ろ過後)	0.01(mg/ℓ)	0.005未満	0.005未満	-	-	0.005未満	0.005未満	0.005未満
ジクロロメタン	0.02(mg/ℓ)	0.001未満	0.001未満	-	-	0.001未満	0.001未満	0.001未満
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04(mg/ℓ)	0.001未満	0.001未満	-	-	0.001未満	0.001未満	0.001未満
1,1,1-トリクロロエタン	1(mg/ℓ)	0.001未満	0.001未満	-	-	0.001未満	0.001未満	0.001未満
テトラクロロエチレン	0.01(mg/ℓ)	0.001未満	0.001未満	-	-	0.001未満	0.001未満	0.001未満
ノルマルヘキサン(鉱油)	5(mg/ℓ)	-	-	0.5未満	0.5未満	-	-	-

■工場周辺騒音測定

工場から出る騒音により周辺住民の生活に影響がないか、騒音測定を年1回実施して工場立地地域の基準に対し、1ランク高い自主基準値を設定しその値以下であることを確認しています。

■2013年度工場周辺騒音測定結果

時間帯	自主基準値	敷地境界別 騒音測定値(単位: dB)				
		正門前民家東側	A棟西側	D3棟東側	E棟東側	E棟北側
朝 6AM~7AM	60 dB	43	43	50	40	37
昼 7AM~7PM	65 dB	45	54	52	44	44
夕 7PM~10PM	60 dB	45	46	50	44	39
夜 10PM~6AM	55 dB	39	42	50	40	35

8. 環境に関わる法規制の順守状況

■定期順法評価状況及び自主基準値オーバーの有無

■年2回の定期順守評価を実施し、35項の関連法規において、104項目の法的要求事項順守状況を評価した結果、2013年度での法規制値の逸脱及び自主基準のオーバーは発生しておりません。

9. 環境マネジメントシステム

■持続可能な社会発展に寄与できる事業活動

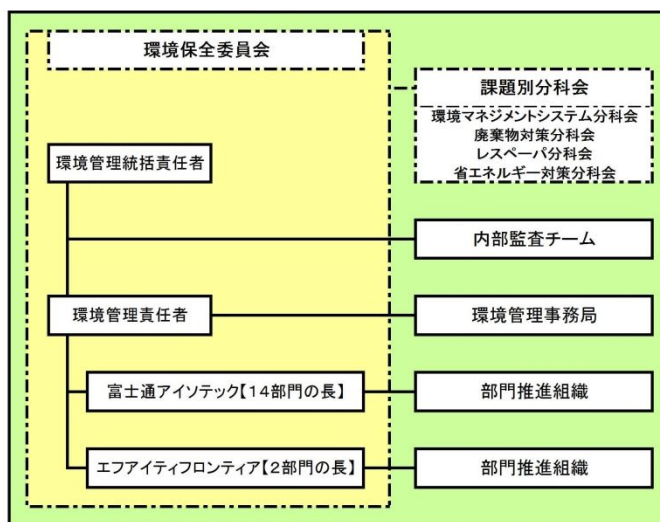
■当工場は、富士通グループの一員としてICT機器の開発からリサイクルまでのライフサイクルビジネスを通じた事業活動の中で、ISO14001に準拠して構築した環境管理システムにより、右図の管理組織を構築し、低炭素で持続可能な社会の発展に寄与できる様、環境活動を行っています。

■環境マネジメントシステムへの取組と活動経過

- 1.ISO14001認証取得(1998年12月)
- 2.リサイクルビジネス開始(2003年4月)
- 3.廃棄物ゼロエミッション達成(2004年3月)
- 4.富士通グループEMS統合(2005年3月)
- 5.環境リファレンスモデル工場実践開始(2011年4月)

■第7期環境行動計画(2013年度~2015年度)

■富士通グループの第7期環境行動計画に基づき、環境配慮製品の開発、温室効果ガス排出削減、廃棄物削減、製品リサイクル推進と事務用紙使用枚数削減、良き企業市民としての社会貢献活動をテーマに環境マネジメントプログラムに取り組んでいます。



富士通アイソテック環境管理組織

お問い合わせ先

富士通アイソテック株式会社

〒960-0695 福島県伊達市保原町東野崎135
 TEL: 024-575-2191 FAX: 024-575-2341
<http://jp.fujitsu.com/fit/>

発行責任者 遠藤賢次
 編集責任者 荒 和人
 発行年月日 2014年6月20日
 記載事項対象期間 2013年4月1日~2014年3月31日

